

秋の京都 としておきの隠し味(紅葉・黄葉)

京都府立植物園

1 セールスポイント

都市部にいながらにして、色とりどりの紅葉・黄葉。

2 見所

全園にわたり楽しむことができます。

①紅葉銀座

・園内中央のハス池の東側は人気No.1です。

②紅葉裏銀座

・①のハス池の西側(「半木神社」の西)は、ひそかな人気スポットです。

③フウの大木

- ・樹齢90年以上の大木。
- ・黄⇒オレンジ ⇒赤と変化していきます。(朝昼夕の色の輝き方が変化します。)
- ・2年前、各地の新聞に掲載されました。
- ・この「フウ」のファン、多し。

④生態園の多彩な色

・「メクスリノキ」、「ハウチワカエデ」、「カナクギノキ」など、山の奥深くまで行かないと見ることの出来ない紅・黄葉が楽しめます。

⑤その他

- ・観覧温室前の「イチョウ」の黄葉と「サクラ」の紅葉の調和。
- ・中央売店北側の「ランシンボク(別名、「学問の木」「孔子木」)」はオレンジ色の代表格。中国原産の珍しい樹木。
- ・宿根草・有用植物園から北側に望む「アメリカツタ」は正に、紅葉のシャワー。但し、2~3日間のみ輝きです。
- ・はなしょうぶ園の「ヌマスギ」や生態園北の「メタセコイヤ」は意外と美しい淡茶褐色。

3 紅・黄葉する種類と本数

- ・モミジ類 約300本
- ・サクラ類 約100本
- ・フウ 約20本
- ・イチョウ 約30本
- ・ニシキギ 約20本
- ・その他
- ・計 約2,000本

紅葉	・ヤマシジ	・メクスリノキ	・イロハカエデ	・フウ
	・ニシキギ	・ハナミズキ	・ヤマザクラ	・ササキ
	・ハゼ	・ツバキ	・アザミ	・ドウダツツツ
黄葉	・イチョウ	・カツラ	・カナクギノキ	・エノキ
	・ウリハダカエデ	・イタヤカエデ	・ムクナ	
札ツツ	・ランシンボク			
黄褐色	・クサキ	・クサキ	・ツバ	・ブナ
	・ヌマスギ	・メタセコイヤ	・アブキ	・ク

4 期間

11月中旬~12月初旬